

学習指導要領		都立杉並総合高校 学カスタンダード
A 話すこと・聞くこと	<p>ア 話題について様々な角度から検討して自分の考えをもち、根拠を明確にするなど論理の構成や展開を工夫して意見を述べること。</p> <p>イ 目的や場に応じて、効果的に話したり的確に聞き取ったりすること。</p> <p>ウ 課題を解決したり考えを深めたりするために、相手の立場や考えを尊重し、表現の仕方や進行の仕方などを工夫して話し合うこと。</p> <p>エ 話したり聞いたり話し合ったりしたことの内容や表現の仕方について自己評価や相互評価を行い、自分の話し方や言葉遣いに役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。</p>	<p>・社会問題などについて、聞いた内容を基に、背景や方策を把握し、自分の考えをもつことができる。</p> <p>・論拠に基づき、反論を想定しながら自分の考えを話すことができる。</p> <p>・報告や発表などで、何のために誰に向かって話すのかを考えて、資料などを用いながら話すことができる。</p> <p>・報告や発表などで、要点を押さえながら、話し手の主張を聞き取ることができる。</p> <p>・ビブリオバトルを通して、本の持つ魅力とその本に対する自らの考えを明確にした発表をすることができる。</p> <p>※新型コロナウイルスの影響により、ビブリオバトルを開催しないことがある。</p> <p>・グループ討議などで、他者の意見を聞くことで、そのよい所を取り入れ、自分の意見を修正する材料にできる。</p> <p>・司会者や提案者などの役割に応じて、話の構成や展開を考えて話すことができる。</p> <p>※新型コロナウイルスの影響により、話す活動を制限する場合がある。</p> <p>・相手や目的、場に応じて、論の構成・展開の仕方など、自己や他者の良い点・直すべき点を指摘し、それぞれに込められた思いや考えに気付くことができる。</p>

学習指導要領		都立杉並総合高校 学カスタンダード
B 書 く こ と	ア 相手や目的に応じて題材を選び、文章の形態や文体、語句などを工夫して書くこと。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分自身の体験や考えたこと、身の回りのことなどから、目的に応じて、題材を選んだり発想したりすることができる。
	イ 論理の構成や展開を工夫し、論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめること。	<ul style="list-style-type: none"> ・複数の語句や言い回しの中から、題材や文章の形態にふさわしいものを選択することができる。 ・「序論－本論－結論」という文章の進め方を取り入れて、800字程度の文章を書くことができる。 ・反論を想定しながら、論拠に基づいて自分の考えをまとめることができる。
	ウ 対象を的確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書くこと。	<ul style="list-style-type: none"> ・事実や事柄などを正確に説明したり、手順や理由などを論理的に説明したりすることができる。 ・情景や人物、心情などを、表現技法などを用いて、読み手が想像しやすいように描写することができる。
	エ 優れた表現に接してその条件を考えたり、書いた文章について自己評価や相互評価を行ったりして、自分の表現に役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。	<ul style="list-style-type: none"> ・優れた文章に対して、発想の豊かさや論の構成・展開の良い点を指摘することができる。 ・他者と自己の文章を比較して、自己の文章のよい点と修正すべき点を客観的に把握できる。

学習指導要領		都立杉並総合高校 学カスタンダード
C 読 む こ と	ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。	<p>【現代文】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・量・難易度とも中程度の評論文について、表現技法や語句の使い方をとらえて読むことができる。 ・小説の表現や韻文のリズムを、音読・暗唱などを通して味わうことができる。 <p>【古 典】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古文の文節や単語などの区切りを理解して、音読することができる。 ・物語・随筆・日記・和歌などの違いを理解して、それぞれの作品を読むことができる。 ・漢文の基本的なきまりに従って、音読することができる。
	イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。	<p>【現代文】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章中のキーワード、キーセンテンスを筆者の主張との関係で指摘することができる。 ・文章中の指示語の内容や接続詞の働きを理解して読むことができる。 ・筆者の主張を抜き出して各段落を要約したり、全体を要約したりすることができる。 <p>【古 典】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古文の用言や助動詞、基本的な助詞・敬語、係り結び、和歌の修辞などを理解して、文章を読み取ることができる。 ・漢文の訓点や再読文字、基本的な置き字・句法について理解して、文章を読み取ることができる。
	ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。	<p>【現代文】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の言動や、心情とその変化を読み取り、説明できる。 ・比喩表現などから状況や心情をとらえて説明できる。 <p>【古 典】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古文の文章において、人物（行動や心情）、情景（場面、状況、風景）、出来事（何を、どうした）を読み取ることができる。

学習指導要領	都立杉並総合高校 学カスタンダード
<p>エ 文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりすること。</p> <p>オ 幅広く本や文章を読み、情報を得て用いたり、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしたりすること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・和歌に込められた詠み手の心情を理解する。 ・古典の文章に見られる間接的な表現に込められた作者の心情を理解する。 ・各段落の働きを理解し、段落相互の関係を読み取ったり、「序論・本論・結論」などの文章の組み立てを指摘したりすることができる。 ・情景や心情の変化をたどり、作品全体の筋をとらえて説明できる。 ・用いられている文体の効果や、語句の工夫、対比などの表現技法を説明できる。 ・書き手の主張や意図を読み取ることができる。 ・様々な形態や幅広い内容・分野の本や文章を、書店や図書館だけでなく、ウェブページなど幅広い方法で入手し、読むことができる。 ・読んだ本や文章から、必要な情報を読み取り、目的に応じて活用することができる。 ・読んだ文章を評価することを通して、文章に表れた書き手の多様な思いや考えに気付くことができる。

学習指導要領	都立杉並総合高校 学カスタンダード
<p>ア 伝統的な言語文化に関する事項 (ア) 言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化への興味・関心を広げること。</p> <p>(イ) 文語のきまり、訓読のきまりなどを理解すること。</p> <p>イ 言葉の特徴や決まりに関する事項 (ア) 国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解すること。</p> <p>(イ) 文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにすること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・和歌の朗詠・贈答の慣習、三大集、歌物語などについて理解する。 ・主要な古典知識（月の異名、十二支、古時刻・古方位、年中行事）や価値観（結婚観や宗教観など）について理解する。 ・古代中国の文字や書物の影響のうち主要なもの（故事成語、漢詩など）について理解する。 ・歴史的仮名遣い、用言の活用、助動詞・基本的な助詞（「ば」など）の意味・用法、係り結び、敬語、和歌の修辞などを理解する。 ・訓点や再読文字、基本的な置き字・句法について理解し、訓読したり書き下したりすることができる。 <p>【現代文】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熟語の構成における主述関係や修飾、被修飾の関係などを説明できる。 ・言語の主要な機能を理解し、それが個人や対人的な領域だけでなく、社会的な領域で実現されていることを理解する。 <p>【古典】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史的仮名遣いを理解して古文を正しく読んだり、表記したりすることができる。 ・主要な古今異義語の意味の違いを知る。 <p>【現代文】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文の成分を理解し、照応関係に注意して文を書くことができる。 ・文章の段落構成を理解し、それを意識して文章を書くことができる。 ・語句の意味・用法を理解し、また適切に用いることができる。 ・説明的文章に使用される語句のうち主要なもの（相対、抽象、エゴイズム、グローバルなど）の意味を理解する。

学習指導要領		都立杉並総合高校 学カスタンダード
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	ウ 漢字に関する事項 (ア) 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字が書けるようになること。	【古 典】 ・基本的な古語（おぼえ、ながむ、あさまし、いかで など）80 語程度の意味を理解する。 ・基本的な漢語（豈、被、耳、況、已など）40 語程度の意味を理解する。 ・常用漢字の大体を読み、学年別漢字配当表の漢字1006 字を含む 1600 字程度を書くことができ、文や文章の中で使うことができる。